



## 1万石ってどういう意味なの

### 米の量が1万石分あるということ

石というのは、米や酒をはかる単位のことです。1石は、約180リットルになります。1万石とは、1石(180リットル)の1万倍にあたりますから、全部で180万リットルになりますね。

昔は、大名や武士に支給される給与は、石という単位で表されていました。1万石の大名とか、500石どりの旗本などといったのです。

現在は、給料は現金で受け取るようになっていますが、江戸時代には、現金のかわりに米を受け取っていたのです。武士たちは、この米を売って現金にし、それで物を買うという生活をしていたのです。

### 石高が武士の格式をきめた

1582年に、豊臣秀吉が太閤検地といわれる土地の測量を行い、米の生産高を「石高」で表すようにしました。

この石高は、江戸時代になると、武士の身分や家の格式に、大きなかわりをもつようになりました。1万石以上の石高のある武士は、大名とよばれました。また、1万石未満の石高の旗本やそれ以下の武士たちも、もらう石高によって、格付けされるようになったのです。しかし、この石高制度は、1873(明治6)年に、はい止されました。

(監修・田代 脩)

